CHUBU

取扱説明書（保証書付）

型式　ＤＤ−１３ＴＡ

ＩＨコンロ

●安全に正しく使っていただくため、お使いになる前に必ずこの取扱説明書をよくお読みください。

●十分に理解されるまでお使いにならないでください。

●この取扱説明書はすぐに取り出せるように大切に保存してください。

●この取扱説明書で「警告」は守らないと重大な人身事故の可能性があることを示し「注意」は守らないと中程度、または軽傷の人身事故の可能性があることを示します。

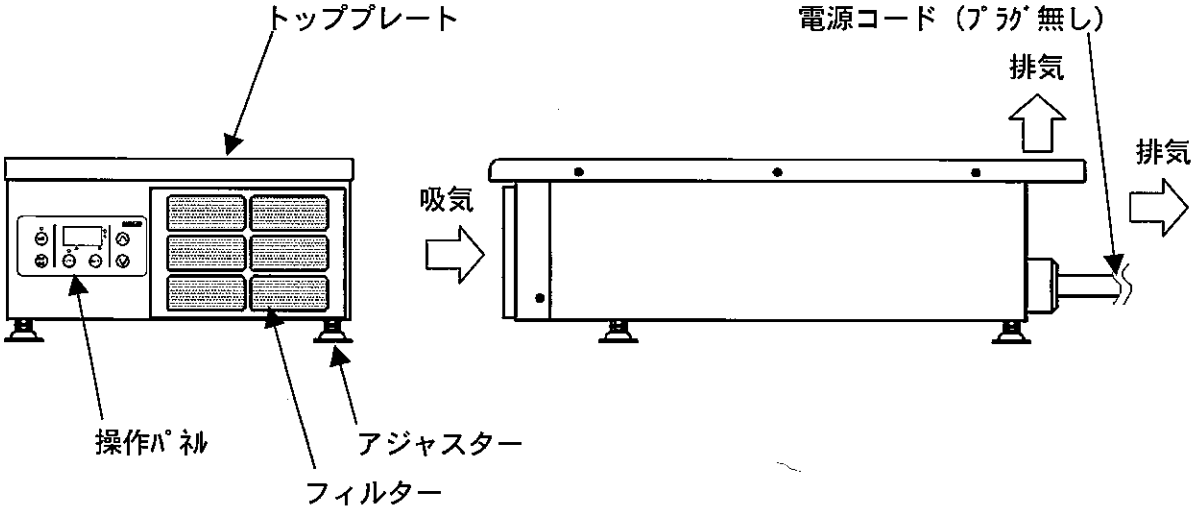
●仕様および外観は性能向上のため予告なく変更する場合があります。

目次

1　各部の名称 …… 1
2　安全のため必ず守って下さい…… 2
3　設置および使用前の準備…… 6
4　使用方法 …… 8
5　日常の点検とお手入れの方法…… 11
6　消耗品の紹介 …… 12
7　故障の見分け方と処置方法…… 13
8　仕様 …… 14
9　保証とｱﾌﾀｰｻｰﾋﾞｽについて…… 14

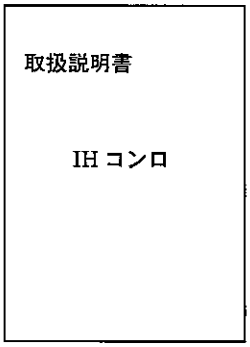
株式会社 中部コーポレーション

1 各部の名称



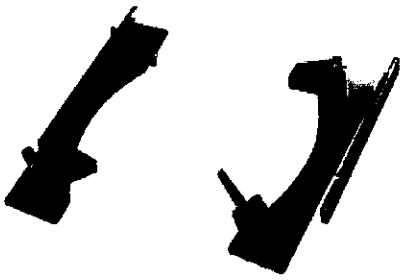
付属品

取扱説明書（保証書付き）



オプション

中華鍋用五徳



2　安全のため必ず守って下さい

●ご使用になる前に、この「安全のご注意」をよくお読みのうえ正しくお使い下さい。
●ここに示した注意事項は、安全に関する重大な内容を記載していますので必ず守って下さい。
●表示と意味は次のようになっています。

⚠ **警告**	誤った取り扱いをすると、人が死亡または重傷を負う可能性が、想定される内容を示します。
⚠ **注意**	誤った取り扱いをすると、人が傷害を負ったり、物的損害*の発生が、想定される内容を示します。

＊物的損害とは、家屋・家財および家畜ペットにかかわる拡大損害を示します。

図記号の例

⚠ 注 意	△は注意（危険・警告を含む）を示します。具体的な注意内容は、△の中や近くに絵や文章で示します。
分解禁止	⃠ は、禁止（してはいけないこと）を示します。具体的な禁止内容は、⃠ の中や近くに絵や文章で示します。
プラグを抜く	● は、強制（必ずすること）を示します。具体的な強制内容は、● の中や近くに絵や文章で示します。

⚠ 警　告

●お手元に届いたら、すぐに運送上の損傷がないかチェックすること
もし、損傷があれば運送会社へ損傷の状況を（梱包の箱と共に）連絡してください。損傷のまま使用しますと、感電、火災、ケガ等の原因となります。

損傷確認

●アース工事を必ず行うこと
アース線はガス管、水道管、避雷針電話のアース線に接続しないでください。アースが不完全な場合は、感電の原因となります。
（電気工事業者によるＤ種設置工事が必要です。）

アース工事

●絶縁試験（メガーテスト）をしないこと

メガーテストを行うと、製品の故障の原因となります。

禁　止

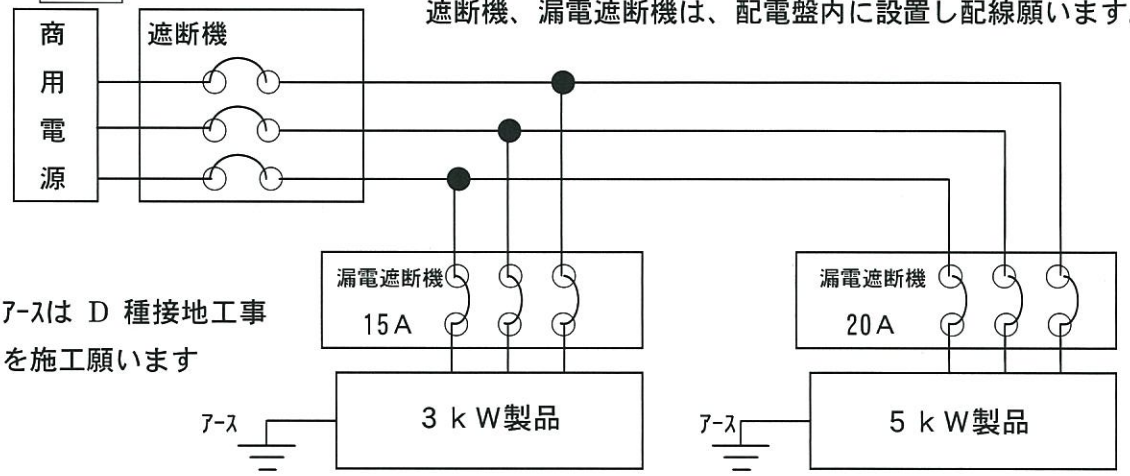
●本製品の１台につき１個の高周波対応漏電遮断機（地絡過負荷・短絡保護兼用形）感度電流 30mA を以下のように設置すること

３ｋＷの製品については定格１５Ａ以上の漏電遮断機を５ｋＷの製品については定格２０Ａ以上の漏電遮断機を以下の結線図のように設置をして下さい。

漏電遮断機設置

設置例

遮断機、漏電遮断機は、配電盤内に設置し配線願います。



ｱｰｽは D 種接地工事を施工願います

●電源は専用コンセントを使用すること

電源コードは途中で接続したり、延長コードの使用、およびタコ足配線をした場合には、感電や発熱、火災の原因となります。（電源を入れる前に供給されている電圧が装置の規格と合っているか確認して下さい。）

専用電源

●屋外で使用しないこと

雨水のかかる場所で使用されますと、漏電、感電の原因となります。

屋外禁止

●本機は業務用ですので子供だけで使わせないでください

感電、ケガの原因となります。

禁　止

●電源コードを傷つけたり、汚さないこと

加工したり、引っ張ったり、たばねたり、重いものを載せたり、はさみ込んだり、また汚したりすると電源コードが破損し、感電、火災の原因となります。

禁　止

●電源コード取付け部にほこりが付着していないか、また、
しっかりと接続されているか定期的に確認すること
ほこりが付着したり接続が不完全な場合は、感電、火災の原因となります。

点検掃除

●濡れた手で電源コードなど電気部品に触れたり、操作をしないこと
感電、ケガの原因となります。

濡手禁止

●異常時は、運転を停止し、元電源を切って、すぐに最寄りの販売会社へ
連絡すること
異常のまま運転を続けると感電、火災の原因となります。

プラグを抜く

●修理技術者以外の人は絶対に分解したり、修理しないこと
異常動作してケガをしたり、修理に不備があると感電、火災などの
原因となります。

分解禁止

●使用後のトッププレートは熱くなっていますので手を触れないこと
使用後しばらくは、鍋の熱でトッププレートが熱くなっていますので、
手を触れないでください。火傷をすることがあります。

接触禁止

●トッププレートに衝撃を加えないこと
トッププレートに強い衝撃を加えると割れます。
トッププレートにひびが入ったり、割れた場合は、販売店に連絡して下さい。
有償にて修理を致します。そのままでの使用は絶対にしないでください。
異常動作や感電の原因となります。

禁 止

●鍋の底に物を敷いて運転しないこと
鍋の底に紙や布などの物を敷くと鍋の熱でその物を焦がすことがあります。
また、それによって故障の原因となる場合があります。

禁 止

●鍋の中に何も入れずに運転しないこと
鍋の中に何も入れずに運転すると火傷、火事等で危険ですのでしないで
ください。また、それによって故障の原因となる場合があります。

禁 止

●水、油等の液体につけたり、かけないでください
感電、ショート、発火など、故障の原因となる場合があります。
また、ふきこぼれ等の場合は電源を切り、拭き取って下さい。

禁 止

●心臓用のペースメーカーをご使用の方は、使用に注意してください

心臓用のペースメーカーをご使用の方は、専門医師とよく相談の上、影響のないことを確かめてからご使用ください。

注 意

⚠ 注 意

●丈夫で平らな所に水平になるように据え付けること

据え付けに不備があると転倒、落下によるケガなどの原因となる場合があります。

水平設置

●長時間使用しない時は、元電源を切ること

電源接続部にほこりが溜まって発熱、発火の原因となる場合があります。

電源を切る

●廃棄は専門の業者か、最寄りの販売会社に依頼すること

放置しますとケガの原因となる場合があります。

専門業者

●排気口をふさがないこと

排気口のすぐ側にものを置くと内部の温度が高くなり、保護装置が作動して加熱が停止されますが、電気部品が故障する場合があります。

禁 止

●鍋はトッププレートの中央に置くこと

トッププレートの指定の場所からずらしたり、鍋を置かずに加熱しますと、保護装置が作動して加熱が停止されｎＰが表示されます。ｎＰを解除するには、加熱キーを押して下さい。ただし、５秒以内に鍋を置くと保護装置は作動しません。

注 意

●磁気製品を近づけないでください

磁気製品を近づけるとそれが壊れる場合があります。

注 意

●電磁調理可能鍋以外は使用しないでください

電磁調理可能鍋以外の磁石に吸い付くもの（缶類、ナイフ、スプーン等）を置くと、加熱し、火傷等の危険があります。下記に示す電磁調理可能鍋を使用してください。

禁 止

3 設置および使用前の準備

●丈夫で平らな所に水平になるように設置してください

本機を正しく動作させるために、水平な場所に設置してください。

●本機に水がかかる恐れがある付近には設置しないでください

電気部品に水がかかって火災・漏電・感電の原因となることがあります。

●電源は規格の電圧のものを使用してください

電源を入れる前に供給されている電圧が装置の規格と合っているか確認してください。

●電磁調理可能鍋を使用してください

本製品において鍋の形状・材質・大きさにより使用できない鍋があります。以下のものを参考にしてください。

使用できる鍋

・鉄、鉄ホーロー、鋳物、ステンレス（18-0, 18-10）等、磁石の吸い付く鍋、電磁調理器用に設計された鍋（土鍋等）で、鍋底の直径が１５cm以上のもの

・鉄製中華鍋

※オプション品の中華鍋用五徳を使用すれば、従来中華鍋用コンロと同等の使い方が可能です。

注意

鍋底の直径が１５cm以下の鍋は加熱可能ですが、十分な加熱ができない場合があります。

鍋底が薄いものは、使用中に反る場合がありますので、厚手のものを使用してください。

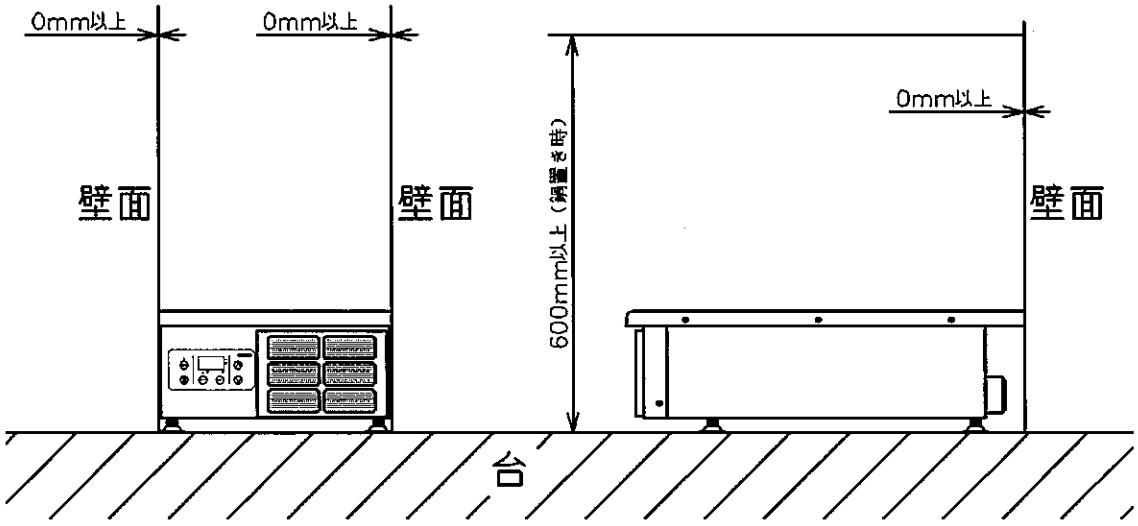
使用できない鍋

ガラス、アルミ、銅、陶磁器、土鍋等の磁石に吸い付かない鍋、アルミや銅鍋等に鉄を溶射した鍋等。

注意

使用できない鍋を加熱させると保護装置が働き、警報ブザーが鳴りｎＰが表示され、加熱が停止します。解除する場合は加熱キーを押してください。

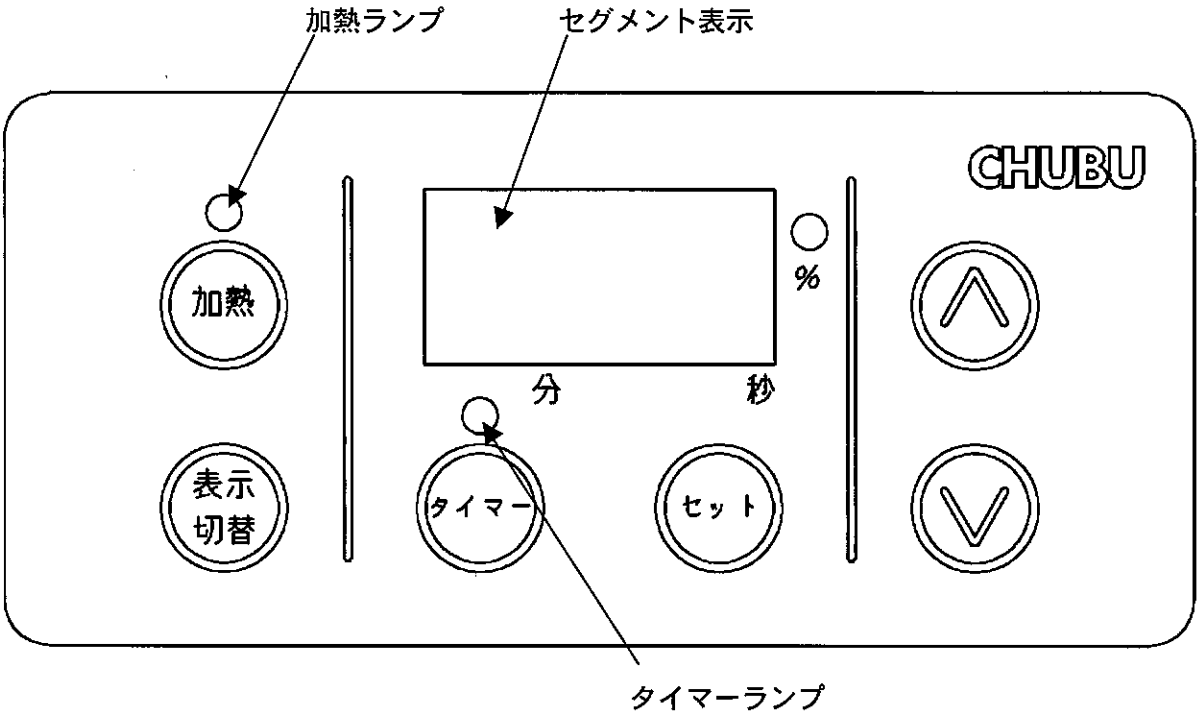
●設置要領図



※ただし、加熱機器と隣り合わせ（左右前後）で設置する場合は、
５０mm以上のスペースをあけること。

4　使用方法

タッチパネル



加熱	加熱ＯＮ・ＯＦＦスイッチ 運転時、ランプが点灯する 警報表示時の解除スイッチ
ﾀｲﾏｰ	タイマー運転をするときのスイッチ 運転中は、ランプが点滅する
表示 切替	セグメント表示の表示切り替えスイッチ
∧　∨	パワーの設定をするときの値を変える上下スイッチ タイマー運転の設定値を変える上下スイッチ
ｾｯﾄ	タイマー運転の設定をするときの決定スイッチ フィルター清掃警報「Ｆ Ｉ Ｌ」の解除スイッチ

1. 通常運転

(1)電源を入れます。(漏電遮断機を「ON」にします。)
(2)タッチパネルのセグメント表示部に何らかの表示がされているのを確認する。
(3)トッププレートの中央に加熱したい鍋（前頁の使用できる鍋に該当すること）を置きます。

注　意
鍋はトッププレートの中央に置くこと。
トッププレートの中央からずらして加熱すると、パワーがでない場合があります。
トッププレートの中央からずらしたり、鍋を置かずに加熱しますと、保護操作が作動して加熱が停止し、ｎＰが表示され、ブザーが鳴ります。
異常表示を解除するには、加熱スイッチを押して下さい。ただし、5秒以内に鍋を置くと保護操作は作動しません。

注　意
加熱中に電磁調理可能鍋以外の金属等（缶類、ナイフ、スプーン等）をトッププレート上に絶対に置かないこと。
加熱スイッチ放置による保護機能はありませんので、加熱中に金属物を置くと加熱してしまいます。火傷等の危険がありますので絶対にしないこと。

(4)加熱スイッチを押すと加熱が開始されます。
(5) ∧ ∨スイッチによって加熱の強弱の調節ができます。
(6)加熱スイッチを押すと加熱が停止されます。

注　意
加熱を切りにしても冷却ファンが動いていますので、停止するまで元電源を遮断しないで下さい。

2. タイマー運転

(1)加熱停止（あるいは加熱中）の状態にて、タイマースイッチを押す。
　　通常の状態にもどりたい場合、再度、タイマースイッチを押す。
(2)タイマーの時間設定を変更したい場合は、セットスイッチを押す。
　　表示された時間設定で運転したい場合は、(7)以降を行なう。
(3)分の値を∧ ∨スイッチにて数値を変更する。
　分は 0～9 まで入力できます。
(4)セットスイッチを押して分を決定する。
(5)秒の値を∧ ∨スイッチにて数値を変更する。
　秒は、0 から 59 まで入力できます。
(6)セットスイッチを押して秒を決定する。
(7)加熱スイッチを押して、タイマー運転（加熱）が開始される。
　表示切替スイッチを押すと、セグメントの表示が　タイマー時間 ⇒ パワー設定値の表示に変わります。
　タイマー運転途中で、タイマー運転を終了したい時は、再度加熱スイッチを押してください。
(8)∧ ∨スイッチを押すことによって、好みのパワーに変更できます。
(9)ブザーが鳴り、タイマー運転が完了し、加熱停止します。
(10)加熱停止中の状態にてタイマー運転を行なった場合は、続けて加熱を押すことにより、再度タイマー運転を行なうことができます。

5　日常の点検とお手入れの方法

1．フィルターの手入れ

(1)電源を切り（漏電遮断機を「OFF」にします)、機器が十分に冷えている事を確認してください。

(2)前面パネルのフィルターカバーを上部にスライドさせ、手前に引き抜いてください。

(3)フィルターカバーよりフィルターを外し、中性洗剤で浸け置き洗いをしてください。

(4)自然乾燥をさせた後、組み付けてください。

注　意

フィルターの手入れは１週間に１回、又は清掃時期お知らせサイン「ＦＩＬ」が表示されたら行って下さい。清掃時期お知らせサインは、フィルター清掃後、**「セット」スイッチ**にてリセットして下さい。

使用環境が悪い場合や使用頻度が多い場合は、手入れの回数を増やして下さい。

フィルターの無い状態や、フィルターが目詰まりした状態で運転をしないで下さい。

電気部品の故障の原因となります。

2．トッププレートの手入れ

トッププレート上が汚れた場合、かたくしぼった濡れふきんで拭き取ってください。

注　意

トッププレートは常に汚れの無い状態で使用してください。

トッププレートに付着物が付いた状態で使用を続けると、加熱力が弱くなります。

6　消耗品の紹介

1．フィルター

通常は６ヶ月（使用状況により異なります）、又はフィルターの目詰まりが取れなくなったら、販売店より新品を購入し、交換してください。

フィルターが目詰まりした状態で運転を行いますと、保護装置が働き、警報ブザーと共に運転が停止します。

2．トッププレート

トッププレートは、衝撃・空焚き等により劣化します。

劣化時期は、使用状況により異なります。

ひび割れ・破損等劣化が発生した場合は、直ちに使用を中止し、新品と交換してください。

交換作業は、作業専門者が行う必要がありますので販売店に連絡してください。

3．冷却用ファンモーター

通常は３年を目安として新品と交換してください。

交換作業は、作業専門者が行う必要がありますので販売店に連絡してください。

7 故障の見分け方と処置方法

以下の処置方法を行っても直らない場合や、以下以外の症状が発生した場合は、漏電遮断機を遮断し、販売店に連絡をしてください。１年以内であれば無償、それ以降は有償にて修理いたします。

症状	原因	処置方法
表示窓に何も表示されない	電源コードが外れています。	電源コードを正しく接続して下さい。
	漏電遮断器がＯＦＦになっています。	漏電遮断器をＯＮにして下さい。
表示窓に、ＯＨと表示され加熱が停止した	本製品内部の冷却フィンが異常に温度上昇しました。	通常の温度に下がるまで（「加熱」スイッチを押して解除されるまで）加熱をしないで下さい。また、フィルターが目詰まりしている可能性がありますのでフィルターを清掃して下さい。
表示窓に、ＣＨと表示され加熱が停止した	本製品内部の加熱用コイルが異常に温度上昇しました。	通常の温度に下がるまで（「加熱」スイッチを押して解除されるまで）加熱をしないで下さい。また、フィルターが目詰まりしている可能性がありますのでフィルターを清掃して下さい。
表示窓に、ＬＵと表示され加熱が停止した	機器に必要な電圧が低い。	正しい電源を使用してください。
	瞬時停電が発生しました。	「加熱」スイッチを押すと解除されます。
表示窓に、ｎＰと表示され加熱が停止した	電磁調理器用鍋を正しい位置に置いて運転していない。	「加熱」スイッチを押すと解除されます。 トッププレートの中央（円の中心）に電磁調理器用鍋を置き、運転を開始して下さい。
表示窓に、Ｅｒ１と表示され加熱が停止した	本製品内部のＣＰＵメモリーに異常が発生しました。	漏電遮断器をＯＦＦにし再度ＯＮにして、電源を再投入してください。
表示窓に、Ｅｒ２と表示され加熱が停止した	本製品内部のＣＰＵに異常が発生しました。	
表示窓に、ＦＩＬと表示された	フィルター清掃警報が出ました。（１００時間毎に表示）	フィルターを清掃して下さい。 ・「ｾｯﾄ」以外のスイッチを押すと通常表示となり、１分後に再びＦＩＬ点滅（警報一時解除） ・「ｾｯﾄ」スイッチを押すとブザー音が鳴り、解除されます。
本体のケースに触るとピリピリと不快な感触がある	本体にアース線が接続されていない。	本体にアース線を接続して下さい。
	本体に接続されているアース線が断線している。	本体に接続されているアース線の点検を専門業者に依頼して下さい。
加熱中に突然停止し再加熱できない	本体の故障	販売店へ連絡して下さい。 １年以内であれば無償、それ以降は有償にて修理いたします。
	タッチパネルの故障	

8 仕様

型式	外形寸法 (幅×奥行×高さ)	定格電源	定格消費電力	質量
DD-１３TA	350×600×183.5～218.5mm	AC200V，3相， 50/60Hz	3kW±10%	20kg

9 保証とｱﾌﾀｰｻｰﾋﾞｽについて

保証期間は、本体お買い上げ日から１年間です。

保証期間中は、保証書の規定に従って、無償修理させていただきます。
保証期間後は、診断して修理できる場合、ご要望により、有料で修理させていただきます。
有料修理につきましては、修理費用は、事前に見積金額として提示させていただきます。
修理費用は、技術料＋部品代＋出張料（運送費）で構成されております。
保証期間１年を経過した商品の修理後の保証につきましては、修理箇所についての保証のみで、修理品お届け後６ヶ月です。修理箇所以外で発生した故障につきましては、有料の修理となります。
保証期間後、予防保全の観点から、当社にオーバーホール定期点検の依頼がある場合、当社は、有料でオーバーホール定期点検を実施いたします。オーバーホールの依頼を受け、当社で定期点検修理を実施した商品につきましては、定期点検実施後、６ヶ月の保証をいたします。

保証期間中においても、有料修理となる例

① 外力による破損（トッププレートの破損、等）
② 製品の設置環境が仕様に記載された条件を逸脱して、使用されている。
③ 電源系統に落雷、電気工事などで、異常電圧が発生し故障した痕跡のある場合。
④ フィルターの目詰まりによる異常の履歴がある場合（故障履歴が記録されます）
⑤ 高温（２００℃以上）の油などの飛散によるトッププレート接着材の損傷による故障
⑥ 製品の内部に水などの浸入が認められる場合

交換部品

部品名	標準交換時期	交換方法
フィルター	６ヶ月又は目詰まり発生時	新品と交換
トッププレート	劣化発生時	新品と交換
冷却用ファンモーター	３年	調査の上交換
加熱コイル	５年	調査の上交換
ヒューズ	１０年	新品と交換

保　証　書

品　名	ＩＨコンロ
型　式	ＤＤ－１３ＴＡ
お買上日	※　　年　　月　　日
保証期間	１年
お客様の住所	※
お名前	※
販売店名住所	※

※必ず各欄をご記入下さい。

※印欄に記入のない場合は無効となりますので必ずご確認ください。
この保証書は、本書記載内容で無料修理を行うことをお約束するものです。
お買い上げの日から左記保証期間中に、取扱説明書、本体ラベルその他の注意書きに従った正常な使用状態で故障した場合には、本書記載内容にもとづき、お買い上げの販売店が無料修理いたしますので、商品とこの保証書をご持参ご提示の上、お買い上げ販売店にご依頼ください。

CHUBU
株式会社中部コーポレーション
●お客様窓口　TEL0594(32)1131
〒511－0944　三重県桑名市大字芳ヶ崎字堂ヶ峰1533の1

1. 保証期間内でも次のような場合には有料修理となります。
   - ●誤った使用目的・使用方法・改造・不当な修理による故障または損傷。
   - ●落下・引っ越し・輸送などによる故障または損傷。
   - ●火災・地震など天災地変ならびに公害や異常電圧その他の外部要因による故障または損傷。
   - ●消耗品の交換（消耗品とは、フィルター・トッププレート・冷却用ファンモーター）
   - ●保証書のないもの
   - ●保証書の※印欄に記入のないもの。あるいは字句を書き換えられた場合
2. 保証期間後は、修理できる製品についてご希望により有料修理いたします。
3. 保証書は紛失されても再発行いたしません。
4. 保証書は日本国内で使用される場合のみ有効です。
(This warranty is valid only in Japan.)
5. 保証期間の内外に関わらず、機械の故障により発生した業務上の保証（操業保証）はいたしません。

●修理メモ

アフターサービスについて

●保証書はお買い上げの販売店でお渡しします。記載内容をご確認の上大切に保管して下さい。紛失されても再発行は致しません。

●保証書にお買い上げ日、販売店など所定事項の記入がないと有効とはなりません。記入がないときはすぐにお買い上げ店にお申し出下さい。

●万一、故障した場合には、保証期間中は保証書の記載内容に準じて無料修理を致します。

●詳細は保証書をお読み下さい。

●保証期間内の修理などアフターサービスについてご不明のときは、お買い上げの販売店、または、最寄りの各営業所までご連絡下さい。

CHUBU

株式会社中部コーポレーション

●お客様窓口　TEL 0594 (32) 1131

フード機器事業部 ／ 三重県桑名市大字芳ヶ崎字堂ヶ峰1533-1　〒 511−0944

東 京 ／ TEL 03 (3633) 9501　　大 阪 ／ TEL 06 (6788) 2251
中 部 ／ TEL 0594 (32) 1130　　福 岡 ／ TEL 092 (474) 1312